

専門家派遣

ウラジオストク市の公立義務教育学校No.69の省エネ予備診断を実施しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2018年8月2～3日の2日間、省エネ専門家を派遣し沿海州ウラジオストク市の公立義務教育学校（シュコーラ）No. 69の省エネ予備診断を実施しました。本診断は、来年2月に予定しています。



沿海州政府との打合せ状況



地域暖房温水ヘッダー視察状況

ロシア国は建物関係のエネルギー消費が全体消費の中で大きな割合を占め、特に暖房用エネルギーが大きくその省エネルギー対策が大きな課題になっています。

今年度の日露省エネルギー協力事業として、ロシア連邦政府エネルギー省および沿海州政府の要望により、ウラジオストク市の公立義務教育学校（シュコーラ）No. 69の省エネルギー診断を行うことになりました。ECCJは3名の専門家をウラジオストク市に派遣し、省エネ診断の実施計画について沿海州政府並びに学校関係者と打合せを実施し、併せて学校施設の事前予備診断を実施しました。本診断は、気象条件が厳しくエネルギー使用量の増える2月上旬に実施することになりました。また今回の省エネルギー診断に関しては協力範囲を定義した LETTER of INTENT (LOI) をロシア側と締結いたしました。